

## 内部太陽圏のトピック：BepiColombo への期待

Some science topics on the inner heliosphere: suggestions for BepiColombo observations

# 島田 延枝[1]

# Nobue Shimada[1]

[1] 情報通信研究機構

[1] NICT

今年1月に STE 研究集会として行われた「水星の物理を探る」座談会において inner heliosphere に興味を持って参加された方々(下部参照)の議論を元に、現状の理解と今後のサイエンスの興味深い事柄を概観し、水星探査機 BepiColombo を代表とする内部太陽圏における観測への期待を述べたい。研究集会では豊富な話題が出されたが、合同学会では多くを網羅することは難しいので、テーマを以下の3つに絞り、特に2. 衝撃波の話題に重点を置く予定である。1. CMEs (伝播の様子、太陽風との相互作用) 2. 衝撃波 (1 AU よりもプラズマ条件が幅広い惑星間空間衝撃波の観測、水星 bow shock の正体、slow-mode shocks) 3. ピックアップイオン (星間空間パラメタの見積もり、非熱的成分の生成機構、inner-source pickup ions とダスト)。

尚、この発表は STE 研究集会に参加された(以下、あいうえお順、敬称氏で統一)岡 光夫氏、笠羽 康正氏、片岡 龍峰氏、島津 浩哲氏、高島 健氏、坪内 健氏、徳丸 宗利氏、藤本 正樹氏、星野 真弘氏、松清修一、松原 豊氏の御協力によるものである。